



週報

2016～2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 佐藤圭司 会長エレクト 宮野ふさ子 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1099 回(8 月 30 日)例会の記録

点 鐘 佐藤圭司会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 S A A 江原会員 古谷会員

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34名	30名	87.5%	77.41%

パスト会長の時間

栗原憲司パスト会長

今日は趣味でやっている俳句関係のお話を資料を見ながら紹介させて頂きたいと思っています。



一つ目は大茶会実行委員会が主催の『さやま大茶会』に毎年俳句を 100 句選んで、それを稲荷山の会場の入り口に短冊に書いたものを展示するものです。まだご覧になった事がない方は是非足を運んでみてください。私は俳句連盟の実行委員会の一員になっているので、短冊の字は下手ながら私が書いておりますので、それも併せて観て頂きたいと思っています。

二つ目は『狭山市俳句連盟秋季俳句大会』ですが、私が会長をしております狭山市俳句連盟が主催で、毎年 10 月末頃に行っている秋の恒例行事です。今年 10 月 29 日(土)に中央公民館の市民交流セン

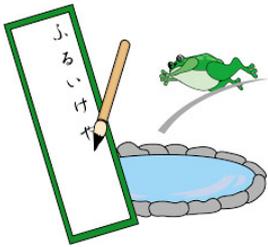
ターで行います。市長賞から議長賞等、多数ありますので興味のある方は出品してみてください。

三つめは 56 年の長い歴史を持つ埼玉俳句賞で、僕は埼玉県俳句連盟の副会長と俳人協会の代表で選考委員になっておりますので、こちらも興味のある方は応募してみてください。

四つ目は『第 23 回小中学生俳句コンクール』で埼玉県芸術文化際の協賛行事として毎年おこなっております。小中学生対象ですので、お孫さん等が参加出来ますし、毎年多くの投稿があります。入賞すると朝日新聞に載りますので学校単位で応募するところも沢山あります。子供の俳句は大人と違って技法的なところがなく、感覚的に優れている作品が多くあるので、そういった子供たちを伸ばしていくという意味でこういったコンクールを催しています。私も選者になっているので、是非応募してください。

五つ目は公益財団法人の俳人協会の埼玉県支部の会報で、私は協会の支部長をやっておます。この会報は約 900 名の会員に総会と俳句大会の資料として送っております。この総会と俳句大会は毎年 5 月 3 日に埼玉文学館で行われ、その記事が載っておりますので読んでいただければと思います。俳句大会は選んだ選者の数で 1 位から 5 位までが決まり、当日句は各選者の特選句が載っております。是非読んでいただくと面白いかと思います。

6つ目は俳人協会の全国版の俳句文学館という新聞で、先程ご紹介した埼玉県の支部総会と俳句



大会の記事で、岸本尚毅さんの講演の様と入選作品の結果が出ております。俳人協会はかなり人数が多く行事も沢山あります。本部は新大久保の俳句文学館という図書館も兼ねたところで、俳句関係の本が沢山置いてあるので興味のある方は行ってみると勉強になると思います。

最後は各地区が持ち回りで主催する俳人協会埼玉県支部の『花と緑の三郷吟行俳句大会』についてです。今年三郷で行われ、会員以外の方も応募出来ますので、是非参加していただけたらと思います。狭山からは少し遠いのですが、三郷には一茶がよく通ったと言われている一茶記念館等がありますので、行ってみると面白いと思います。また、回覧した本3冊の中に50句ずつ出したものが載っているので読んでいただければと思います。

本業はお茶なのですが、「あのお茶屋の人はいつも俳句ばかりやっている。また俳句に行くんですか？」と私の長男が言われているようです。簡単ですが以上です。

幹事報告

益子幹事

【定例理事会】次の件が審議・承認されました。

- (1) 9・10月プログラム承認
- (2) ガバナー訪問、フリーマーケットについて
- (3) 青少年交換学生受け入れについて
- (4) 地区大会への参加について

1. 地区より

- ・『第1回 R財団部門セミナー』のご案内
9月17日(土) 13:30~17:00
- ・『米山一日研修旅行』のご案内
10月9日(日)

2. 受贈会報 所沢東RC 所沢西RC

委員会報告

社会奉仕委員会

佐々木会員

今年も10月15日(土)尚寿会さんのフリーマーケットに参加させていただきます。去年は雨で中止でしたが、より多くの出展作品を出したいと思

いますので、皆様のご家庭で余っている物、使わない物等ございましたら事務局か例会場までお持ちくださいます様お願い致します。

フリーマーケットの準備の打ち合わせを10月4日(火)例会後に行いますので、社会奉仕委員の方は宜しくお願い致します。

「会員卓話」・・・・・・・・

東 美栄 会員



先日リオデジャネイロ五輪が終わりました。メダルラッシュで日本人もすごいと皆さんとても感激されたのではないのでしょうか。

来月からパラリンピックが始まるので、まだ完全に終わった訳ではないのですが。

次はいよいよ2020年東京五輪です。そしてこの2020年、日本のロータリーにとってもちょうど100年という節目の年がやっています。

ポール・ハリスたちが国際ロータリーをアメリカのシカゴで始めたのが1905年です。仲間のガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーらと共に1905年2月23日にローアの事務所でスタートした例会が最初だと言われています。その後、利己的な組織は発展しないという事で1907年に定款の中に“奉仕”という言葉が生まれて一世紀以上たって世界中に広がりました。

日本では1920年、当時の三井銀行の重役だった米山梅吉氏と日本人ロータリアン第一号と言われる福島喜三次氏等の尽力で、世界で855番目に日本のロータリークラブが発足しています。ただ、創設当初は世間の認知度も低く、実際に所属している会員もロータリーがどういったものかよく分かっていなかったようです。そんな日本のロータリークラブに一大転機が訪れたのが、幸か不幸か1923年(大正12年)9月1日の関東大震災です。東京全滅というニュースが海外に伝わると世界中のロータリークラブから援助の手が差し伸べられ、多くのお金が送られてきたそうです。現在の貨幣価値にして140億円あるいはそれ以上という説もあるそうです。

腰を抜かすほど驚いたのは当のロータリアン達で、

自分たちが属しているロータリークラブというものはどえらい組織なんだと再認識する大変大きなきっかけになったと聞いています。その莫大な義援金で孤児院の施設の中に家を建てたり、東京や横浜で失われた小学校に送呈したり、傘下の病院への寄付や殉職した警察官の遺族への援助等を繰り返し行ったそうです。これらの行為によってロータリーが広く認識されるようになり、同時に“誰かのために自分たちの出来る事をする”という奉仕の喜びと言うものを体験した会員たちは、改めてロータリーの力を認識して、それを発展させようと思うようになったそうです。これによってクラブ運営も一新されて、それまでは月1回で、時には参加者も殆どいないような例会が、高い出席率で毎週行われるようになり、クラブの形がきっちり整うきっかけになったのかなと思われます。

でも日本のロータリーの100年の歴史は順風満帆だった訳ではなく、その中には太平洋戦争があり、折しも今は8月で広島や長崎の原爆投下、終戦記念日もあり、私たち日本人にとって戦争について考える事が多い月だと言えます。戦後生まれの私が話すのもおこがましいかなと思いますが、先の大戦がロータリークラブに落とした影を私なりに調べさせていただきました。

大陸での戦火が拡大し対米関係も悪化していく中で、国内でのロータリークラブに対する風当たりはとても強いものであったと想像がつかます。例会には憲兵や特攻が臨席したそうです。卓話やスピーチの内容も予め提出させられて検閲を受けたそうです。思いつきやアドリブで迂闊なことをしゃべると後で呼び出されてしまう様な風潮があったと思われます。新聞上でも「ロータリークラブは米国のスパイだ」などという風に言われ、解散すべきだという世の中の雰囲気があった様です。何しろ敵性言語というカタカナ言葉がとことん弾圧を受けた時代であり、ロータリーの例会前の食事にも出る“カレーライス”は“辛味汁かけ飯”と何だかあまり美味しそうには感じません。“コロッケ”はというと“肉揚げ饅頭”で別のお料理の様になってしまいます。野球用語では“ストライク”は“良し”、“ボール”は“だめ”、“アウト”は“引け”と、何のゲームだか分からない様な言葉が飛び交って

いた中で、ロータリークラブという名前自体がかなり目を付けられたのかなとも思われ、米山梅吉氏も軍当局に呼び出されてロータリークラブの存在は大日本帝国に対する反逆であるとまで言われたとても悲しい時代であったと思われます。そして1940年8月8日にまず静岡RCが解散し、8月19日に岡山RC、21日京都RC、9月5日神戸今治RC、帯広RCと相次いで解散し、米山氏の所属していた東京RCも9月11日に遂に解散を決議したそうです。米山氏は壇上に上がった際に『奉仕の理想はあくまでも堅持したい』と最後の挨拶をされたそうです。ロータリーにとって“奉仕”というのはこれあつてのロータリーなんだという事を感じます。

そしてロータリーが誕生してちょうど20年目に一旦消滅し、解散からわずか2か月後に『奉仕の理想に集いし友よ』という事で、毎週水曜日に例会を行う「水曜倶楽部」という名称に変えて、まるで隠れキリシタンの様に戦時中も奉仕活動続け、傷病兵や家族への慰問や戦争孤児の救済に当たったそうです。

やがて終戦を迎え、多くの方々の尽力によってロータリーは復活しています。米山梅吉氏は日本のロータリー復帰を見る事が出来ずに1946年4月に故郷の沼津で亡くなり、またポール・ハリスもその翌年亡くなりました。

さて立秋はとっくに過ぎて、最近台風の影響で少しは涼しいのですが、今だ残暑が抜けません。夏の風物詩といえば幽霊ではないでしょうか。つい最近まで私はこのロータリークラブの幽霊会員でした。入会は2015年7月7日で、ご紹介者は当時の会長であった江原パスト会長です。新入会員として一年経ちますが、前回の自然災害に関する卓話も今日の卓話もあくまでも会員卓話で、私にイニシエーションスピーチの話が回ってこないという事はどうやら免除して頂けたようです。

私は出戻り会員で、狭山中央RCに初めて入会させて頂いたのは2002年7月です。当時は小澤パスト会長が会長をなさっていた時期でした。前年の年に父が他界して前田病院を継いで今の立場になったのですが、経営者とは如何なものかなと色々模索する中で、経営に係わる方、企業のトップの

方々が多く集う場所に積極的に顔を出そうと思っていた時期でした。ある異業種間の交流の席に参加させて頂いた時には、周りを見るととても立派な方々ばかりで自分ほとんど場違いな所に来てしまった、どうやって名刺交換したらいいのだろう、知り合いになるにはどうしたらいいのだろうと不安でいたところ、一人の女性経営者に声を掛けて頂きました。とても気さくに話しかけてくださって、他の方々にどんどん取り次いでくださり、その日帰る頃には名刺入れが一杯になるくらい色々な方を紹介して頂きました。そしてRCに勧誘して下さったのが狭山中央 RC 美女軍団の名付けの親で現在は退会されている青木直子さんでした。今でこそ女性会員は当たり前となっていますが、LA にあったロータリークラブは女性会員を入れるとクラブそのものが RI から除名されるといった歴史もあったそうですが、1989年から定款が変わり、女性も入会出来るようになりました。設立の1905年と1989年とは別世界と言われる画期的な出来事と言われているそうです。

私が入会した2002年当時、狭山中央RCには既に無敵の美女軍団が存在していて、次年度はクラブ初の女性会長となる宮野ふさ子さんも既に会員としていらっしやいました。その後も女性会員がどんどん増えていて、当クラブに初めてみえるお客様は女性会員が多いという印象を持たれるようです。

幽霊に話を戻すと、入会させて頂いた当初、それだけでも嬉しくて嬉しくて、夜間例会、ゴルフコンペ、企業訪問や日帰りツアー、フリーマーケット等、楽しいことが沢山あり、あらゆるイベントに参加させて頂きました。

入会から2年後、当クラブは時代に先駆けて例会の全面禁煙を既決しています。そのきっかけは私の妊娠で、当時の会長は今亡き寶積会長で、電話で妊娠を報告した後いつも通り例会場に行くと、会場の全てのテーブルから灰皿が消えていました。皆さんの温かいご配慮がとても嬉しかったです。お腹が大きくなって欠席しがちになり、狭山から都内に引越しをして、乳飲み子を抱えながら通うのは大変で、止むを得ず2012年まで幽霊会員をしてしまいました。

2013年に再び狭山に戻ってきたものの、あまりに長く幽霊をやってしまい復帰のきっかけが掴めず不登校の子供のような感じでいたので、夫に代理を頼んでロータリーに出席してもらいました。ただ、私は定款第12条3節を勘違いして出席免除を拡大解釈し、長い事欠席して退会扱いとなっていて、再度新入会することになりました。

こうして再びロータリークラブに戻るチャンスを与えて頂いたので、出来る限り例会に出席したいと思います。『例会は人生の道場だ』という言葉があるように、ここに来る事で多くの事が学べると感じているので、出戻りの私ではありますが、ロータリーと自分ごときを並べて考えるのはとんでもない事なのですが、日本のロータリークラブが世界に復帰する事を許して頂いた様に、私も勇気もらえて戻って来る事が出来ましたので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

「イニシエーションスピーチ」・・・・・・・・

菊田 邦彦 会員

私はこちらのクラブに入会してまだ半年しか経っておりません。

『人の世の幸、不幸は人と人が会うことから始まる』という相田みつおさんの言葉で、良き出会いがあったらいいですねという非常に好きな言葉があります。

万が一、良き出会いじゃなかった時は“塞翁が馬”なんだという様な気持ちで接しておりました。丁度70歳の節目で入会させて頂きました事、本当に嬉しく思っております。

私は日本大学付属第二高等学校を卒業しております。600名の卒業生の中で私だけが大学へ行きませんでした。ちょっと寂しかったのですが、私の親が八百屋をやっており、父の具合が悪くなって母と妹も居りましたので、大学へは行かず家業を継ぎました。ところがその後父の具合が良くなって元に戻ると、私が邪魔になってしまい、当時オートスタンディングに野菜を積んで引き売りという仕事をしておりました。

あちこちの路地で野菜を売っている際に出会ったのがレストランニュー東京という食堂のカロリー



計算をする方で、あなたは真面目だからという事でニュー東京さんを紹介して頂いて、その時“納め”という仕事をさせて頂きました。大阪の万博等もあって、その仕事が順調に運ぶようになって、そのうちに機動隊や安田講堂や最終的には甲府警察まで野菜を入れさせて頂けるようになり、飛ぶ鳥を落とす勢いで非常に売り上げが良くなっていきました。

親父の方は暇とお金が出来てしまったので、大概の男の人がそうなように小指の方に走ってしまい、そうすると八百屋は三日目払いですので、支払いが出来なくなって八百屋を止める事になりました。その後、私は京葉工業という会社に運転手として入社しました。八百屋をしていけば楽して暮らせたのに、うちの奥さんには迷惑をかけてしまって未だに頭が上がりません。京葉工業はごみ屋さんで、板橋の清掃工場、夢の島まで1日に3往復してゴミを運んでおりました。当時は道路が混んでいて中々時間通りにいかず、今の様にコンビニもなかったので立ち食いうどん等を食べて、何とか時間を短縮しておりました。

そんな時に、中山道の交差点あたりに不動産屋さんの看板が多く見られ、そこの従業員の方がかつ丼を食べて将棋をしているのが見えて、年を取ったら絶対にこの仕事をしよう！と思い、すぐに宅建を勉強しました。これが中々難しかったのですが運良く受かって、有頂天になって友人に自慢したところ、所沢の土地を買いたいので見てきてほしいと頼まれ、下富の小学校の隣の和光建設に行くと、私が随分詳しく色々なことを知っているので、取引主任を持っていると告げると、明日から働いてほしいと言われ、翌日からそこで働くことになりました。

建売が全盛期で、建売を3軒売ったら海外旅行に連れて行ってくれるという事で、初めて行ったのが台湾でした。旅行のシステムがよく分からないでいたところ、ある事がきっかけで現地の女性と仲良くなり、彼女とは以来40年間ずっとお付き合いをしております。その彼女がある時マンションを買うのでついてきてほしいと言われ、マンションの取引をしたことがないにも拘らずついて行きました。彼女は水商売の女性で引き出しの中に“こ

より”と言って100万円単位位のお金を所持していました。私は6畳、4畳半の下富のポットトイレに住んでいたのでも、恥ずかしくなって何とかしなければいけないと思い、今の場所に不動産を買いました。その時にもお金が無かったので、土地は広くても家は小さくて、当時小学生の息子が『僕の家はなんで階段がないの？』と泣いて帰って来た際は、何と答えたか覚えていません。

和光建設さんも順調に伸びていったので、社長が500万円、私が200万円出資して、もう一つ別の会社を作りました。1年目は会社が儲からないので給料が貰えず、2年目も頑張っていたのですが、私は監査役だったので会社の謄本を調べてみると、これでは給料が貰えないという事がわかり、翌日会社を辞めさせていただいて、東工住宅という会社を自分で作りました。

それから何年か後に全日本不動産協会の会員になり、所沢支部長を経験しました。

私の役職歴の中に首都圏不動産公正取引協議会という団体の調査指導員というのがあり、ここは不動産の広告の規制をするのが仕事で、泣く子も黙ると言うような、かなり執行力のある団体です。一部上場しようかという所沢のある会社の社長さんが、ここと争って負けて営業停止3カ月、違約金100万円となる等、非常に厳しい条件の団体です。何をやってはいけないかと言うと、“最高”とか“日本一”といったような言葉を使ってはいけないといった規制をする団体です。

例えば、駅まで80mを1分とする規制がありますが、意外と知られていないのがどこからどこまでが駅なのかという事です。駅まで17分と表示されている場合、8階建ての自分の部屋の入口から17分なのか、若しくはエレベーターを降りて建物の入口から駅までが17分なのか、それともマンションの敷地の外からが17分なのか、すごくアバウトなのですが、実はマンションの敷地の入口からが17分で表示されています。

駅はどうかと言うと、新宿や池袋、地下鉄の駅等はどこからどこまでが駅なのか面白いところで、駅の構内への入口までが駅までと表示されるところで、予備知識として覚えておいていただければいいと思います。

もう一つ楽しかったのは世界不動産連盟という団体で、本部はパリにあって私は日本支部の理事を務めておりました。マレーシアという国はすごくいい加減な国で、イスラム国家なので国王が居るときはお酒は一切出てこないのですが、国王が帰った瞬間にどっと出てきます。またロシアのサンクトペテルブルクは交通渋滞で有名な所で、パトカーが前に2台、後ろに2台、観光バス10台が会場から会場までノンストップで反対車線を走る等、かなりいい加減だなと思いました。

素晴らしかったのはアメリカで、たまたまライス国務長官がお見えになった時に、全員が立ってハッピーバースデーの歌を歌っていた記憶があります。日本の首相が来ても誰も誕生日を祝ったりしないんじゃないかと思いました。

色々な黄綬褒章を頂いておりますが、4月に春の園遊会に呼ばれました。そこでした大失敗は、自分の車で母ちゃんと二人で行ったことです。着いてみると、皆帽子をかぶって白い手袋をはめて制服を着た運転手さんが運転する車で来ていて、大恥をかきました。

更に、2時からと思ってご飯を食べていたら、会場には宮内庁御用達の素晴らしい料理がいっぱい並んでいて、それを食べる事が出来ないで未だに後悔しています。

一番嫌だったのは、天皇陛下、次に皇太子、最後に秋四宮ご夫妻が私に声を掛けられて、その際、全日本不動産協会埼玉県本部のネームプレートをつけていたので、どういう団体かとお質問を受けた時に、『うちの団体は野田聖子さんのおじいさんの野田卯一さんが設立した日本最古の団体で、会員は全国で2700名程ですが、3万になればいいと思います。』とまでは言えたのですが、言葉が出てこ



ずにその後『三笠宮様……』と言っただけで緊張してしゃべれなくなってしまった恥ずかしい記憶がございます。

これらもこういった会で色々な人に出会えると思いますので、良き出会いがありますように、皆さんにもご協力していただいて、私も会に貢献させていただきたいと思います。今日はお話を聞いてくださって有難うございました。

ニコニコボックス

佐藤君 8月も終わりますがこれから台風シーズン。被害が出ないように祈るばかりです。本日パスト会長の時間、栗原パスト会長宜しくお願い致します。又、会員卓話の東会員、イニシエーションスピーチの菊田会員、楽しみにしております。

益子君 本日の卓話の東会員、イニシエーションスピーチの菊田会員、楽しみにしていました。宜しくお願いします。

江原君 本日の栗原憲司パスト会長の時間を楽しみにしております。またイニシエーションスピーチで菊田会員、会員卓話で東会員のお話を伺わせていただきます。お三人共に本日は宜しくお願い致します。

菊田君 私の話を聞いていただき有難う

小島君 会員卓話の東会員、イニシエーションスピーチの菊田会員、お話し楽しみです。宜しくお願いします。

柴田君 菊田さん、地元自治会、地域の不動産会社に色々お世話様になります。これからも宜しくお付き合いください。

田端君 東会員、本日の卓話楽しみにしております。菊田会員、イニシエーションスピーチ楽しみです。そして人生の大先輩としてお仲間になって頂いた事に感謝申し上げます。

田中君 早退します。

※ 次の例会

9月6日(火) 12:30~13:30

第2副SAA: 浜野君 稲見君

会員卓話: 若松会員